

## 「四季が丘環境調査隊①」

本単元で育成する資質・能力

課題発見力・思考力・判断力・表現力・主体性・自らへの自信

## 1 単元設定の理由

## (1) 児童の実態から

本学年の児童は、第3学年で「まちのすてきを見つけ隊」の学習に取り組み、地域の名人や地域のよさについて調査・表現活動を行った。児童は、地域に住む名人と関わりを持ったり、地域のよさを見つけたりする活動を通して、地域に対する親しみを深めてきている。しかし、身近な地域の中から課題を見つけたり、収集した情報を整理・分析し、表現したりしていくことに課題がある。

## (2) 教師の願いから

単元の構想にあたっては、地域の自然に目を向けさせ、自分たちの住んでいる町の環境に気づき、友達と協働して課題を解決する力を伸ばしていきたいと考えた。

そこで、本単元では、地域の中で自然の多い公園の環境に目を向けさせることで、地域の環境について考える学習を設定した。また、社会科「住みよいくらしをつくる」、理科「季節と生き物」の学習と関連させて指導を行うことで、学習の定着を図ったり、さらなる課題を見つけていける力を養っていききたい。

「探求的な学習」という視点で特に大切に指導していきたいことは、「課題の設定」と「整理・分析」の学習活動である。思考ツールを活用してイメージを広げ、比較したり、関連付けたりしながら課題を明らかにすることを通して思考力の育成につなげていきたい。また、思考ツールの活用については、その目的を指導者が十分に理解した上で授業に取り入れていきたい。

本学習を通して、四季が丘の自然や環境について考えたことを発信し、地域の環境を守るための活動にも関心を向けさせることを通して、2学期の総合的な学習の時間の学習「四季が丘環境調査隊②」につなげていきたい。

## (3) 『学び合い』の視点から

各教科での学び合いの場面では、課題から気づきを出したり、グループの中で教えあったり考えをまとめたりすることで、学びや理解を深めることができている。また、学び合いを通して、友達の考えのよさやがんばりを認め合うことができるようになってきている。

この学習を通して、友達と一緒に調査・実験を行うことの楽しさ、自分の考えが認められたときの充実感などを育んでいくことを通して、自らへの自信を持つことにつなげさせたいと考えた。

## 2 単元の目標

地域の自然環境を調べ、住みよい環境づくりについて考えることを通して、地域の環境に関心を持ち、環境を守ろうとする意識を養う。

## 3 単元の評価規準

学習方法				自分自身	他者や社会
課題発見力	思考力	判断力	表現力	主体性	自らへの自信
対象と体験的にかかわる中で、課題を発見する。	目的に合わせて情報を収集し、比較したり関連付けたりしながら考える。	事実をもとに、自分の考えを結論付ける。	相手や目的に応じて伝えたいことを表現する。	自分の思いや願いの実現に向けて、行動する。	友達や地域の人々などのかかわりの中で、自己の学び広がりや深まりに気づく。

## 4 本単元において育成しようとする資質能力とのかかわり

スキル	学習方法	課題発見力	①ブルバールの環境について積極的に調べようとしている。 ②収集した情報をもとに、ブルバールの環境を守るためにできることを考えている。
		思考力	①ブルバールの自然に関連した情報を収集しようとしている。 ②収集した情報を思考ツールを活用し、整理・分析して考えている。
		判断力	①収集した情報から必要なものを判断している。 ②事実や根拠をもとに、「ブルバールの自然」について自分の考えを結論付けている。
		表現力	①相手や目的を明確にし、適切かつ効果的な表現方法を考えている。 ②相手意識や目的意識をもって発表・発信している。
意欲態度	自分自身	主体性	①課題の解決に向けて自分にできることを進んで取り組んでいる。 ②友達と主体的に関わりながら自分のものの見方や考え方を深めようとする。
価値観倫理観	他者や社会	自らへの自信	①活動を通して、四季が丘に親しみをもっている。 ②学習を振り返り、自己の学びのよさや成長に気づくことができている。

5 指導と評価の計画 (全26時間)

学習の過程	小単元名	主な学習内容【時間】	評価規準及び評価方法	
課題の設定	探検！四季が丘環境調査隊(8)	○身近な環境であるプールバールのことについて調べていくという単元全体の見通しをもつ。 ・これまでの学びと資料(昨年度の4年生が調べた結果)からプールバールの環境について疑問や興味をもつ。 ・プールバールのことについて調べたいことを出し合う。(水質, 水の流れ, 植物, 生き物など) ・グループを決める。 【2時間】	課題発見力	制作物による評価
情報の収集		○実際にプールバールに行き, 取材・実験・調査等をする。 ○取材したことを詳しく知るため, パソコンや図書を使って調べる。 【4時間】	主体性 思考力	観察による評価 (行動観察) 制作物による評価 (ワークシート)
整理・分析		○収集した情報をグラフや表, マップなどにして整理する。 (水の流れ, 水生生物, 生息している植物, ゴミの量, 水質など) 【2時間】	判断力	制作物・観察による評価 (グラフ・表・マップなど) (行動観察)
課題の設定	発信！四季が丘調査隊(18)	○各グループの分析結果を聞き, 新たな課題やさらに調べてみたいことに気付く。 【2時間】(本時)	課題発見力	観察による評価 (行動観察)
情報の収集		○プールバールの上流と下流について, それぞれのテーマにそって取材する。 (調査・実験) 【4時間】	主体性 思考力	観察による評価 (行動観察) 制作物による評価 (ワークシート)
整理分析		○収集した情報をグラフや表, マップにして前回の情報と比較する。 ○調べた情報を整理し, 効果的に伝える方法を考える。 【2時間】	判断力 思考力	制作物・観察による評価 (グラフ・表・マップなど) (行動観察) 制作物による評価 (ワークシート)

まとめ 創造 表現	○選んだ方法でグループごとに話し合 いながら、まとめ・表現の準備をす る。 【7時間】	表現力  主体性	制作物による評価 (ワークシート) 観察による評価(行動観察)
実 行	○「ブルバールのびっくり情報」を發 表する。 【2時間】	表現力 自らへの自信	制作物・観察による評価 (ワークシート・行動観察)
振り 返り	○学習が効果的だったか検証する。 【1時間】	自らへの自信	制作物による評価 (ワークシート)

6 本時の学習 (1) 本時の目標

ブルバールの環境について収集した情報をもとに話し合うことができる。

(2) 準備物 収集した資料・ワークシート・総合ファイル

(3) 本時の展開

過程	○児童の活動 ・予想される児童の反応	◆留意点
課題の 設定	1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認 する。  ④ブルバールで調べたことを発表し、次の課題を考えることができる。	
情報の 収集	2 前時までに収集した情報を発表しあう。 ○グループごとに発表する。	◆ほかのグループの発表から、 自分たちのテーマとのつながり やもっと知りたいことを考 える。
整理 分析	3 グループで話し合う。 ・次はもっと川の上流や下流の様子を調べたいです。	◆発表したことをもとにもっと 知りたいことについて話し合 う。
まとめ 創造 表現	4 全体で次の課題を交流する。 ・わたしたちは、ブルバールの上流や下流の様子を 調べます。	◆全体でそれぞれのグループの 課題を確認させる。
振り 返り	5 本時の学習を振り返る。  おおむね満足と判断する児童の姿 評価の観点：課題発見力 評価方法：発表内容、ワークシートの記述から ブルバールの環境について積極的に調べようとしている。	
	C 「ブルバール」とつながりのある場所の環境はど うなっているのだろう。	◆次時の活動について考えさせ る。